

「LGBTについて～多様な性と性的マイノリティ～」 講演受講者に対するアンケート集計結果

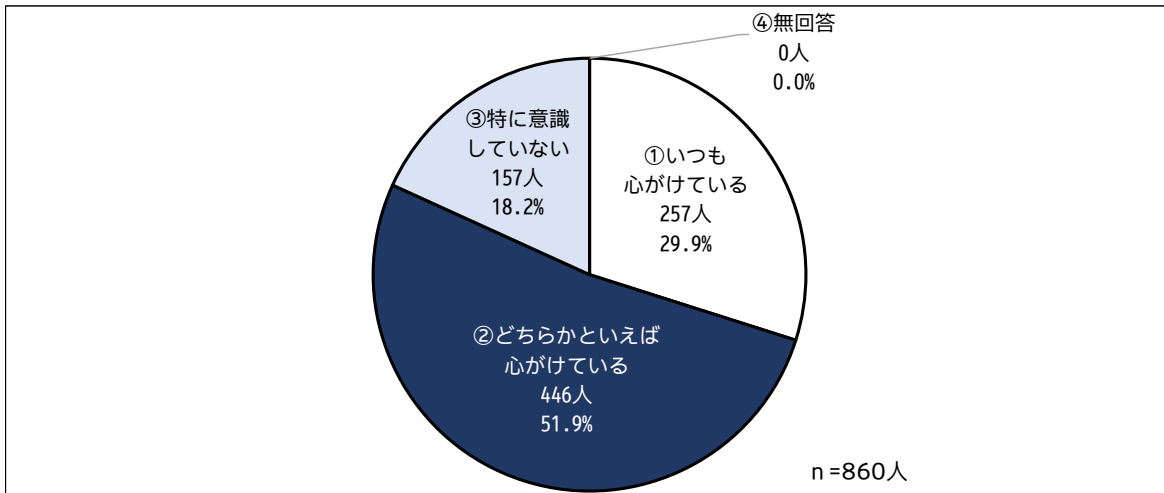
- ・講演内容 LGBTについて～多様な性と性的マイノリティ～ 動画再生時間46分
- ・講師 福島大学 教育推進機構 高等教育企画室 准教授 前川 直哉 氏
- ・受講者 郡山市職員及び市議会議員

講演の目的

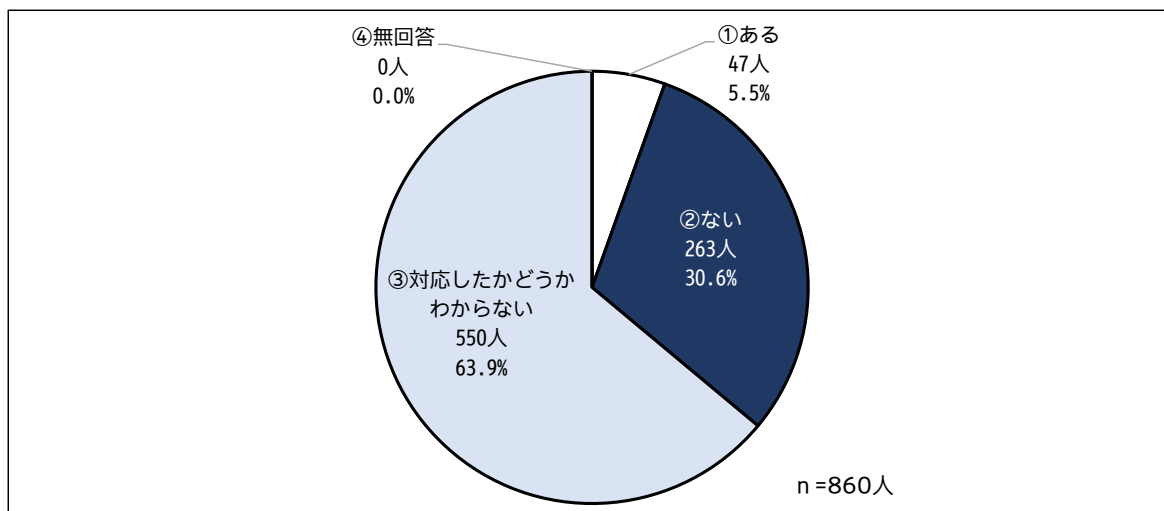
LGBTなどの性的マイノリティの方々は、人口の10%に当たると報告されているが、社会的に理解が深まっていないことから、困難な状況に置かれている。性自認や性指向を理由に困難な状況に置かれることがないように、理解を深める学習機会を提供するとともに、市内での実態数を把握するなど調査研究を実施し、相談窓口の充実を図るなど施策展開を行いながら、誰もが人権を尊重される社会を目指す。

- ・アンケート実施期間 令和5年2月16日（木）～令和5年3月31日（金）
- ・アンケート対象者数 郡山市職員3,455人、市議会議員38人のうち、動画による講演を視聴した1,089人
- ・アンケート回答数 860名（対象者数の79%）

問.日頃の対応において、「性の在り方は多様である」ことを前提とし、固定観念や先入観にとらわれない対応をするように心がけていますか？



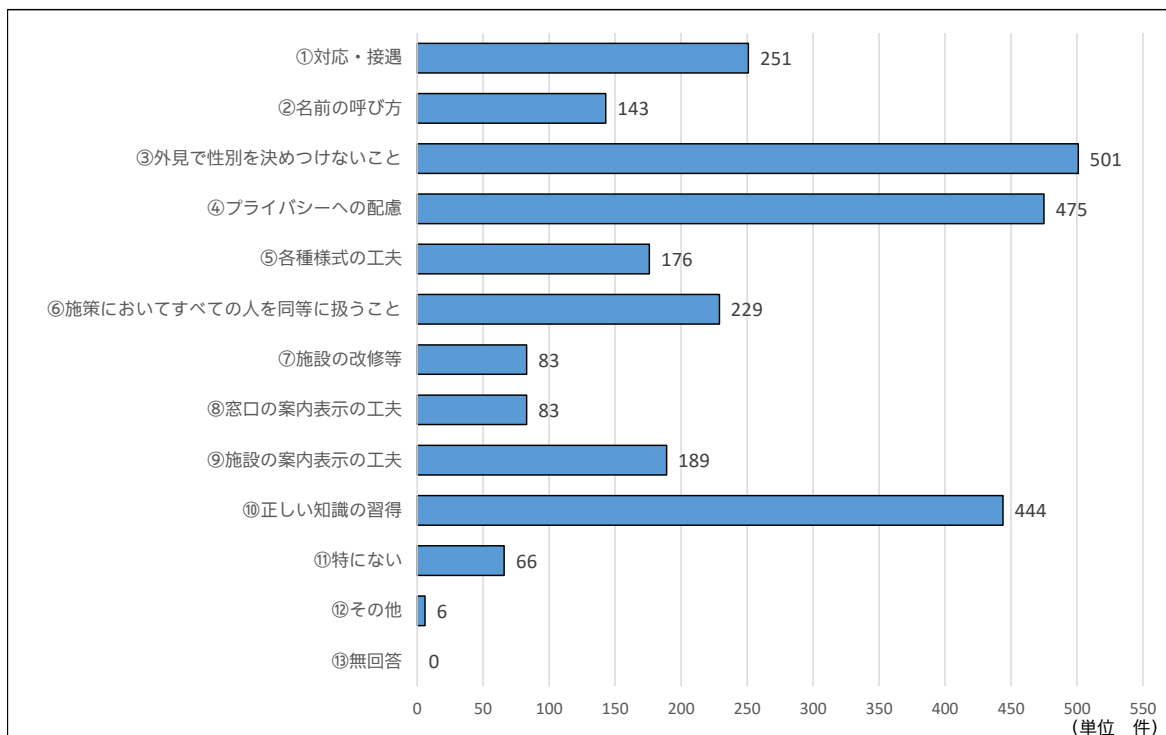
問.性的マイノリティ、または性的マイノリティと思われる住民等に対して、特に配慮したことがありますか？



「①ある」の主な内容

- 性別よっての対応でなく、ひとりの人間として、性別を気にかけない対応をした。通常の対応。
- プライバシーへの配慮や接遇時の呼び方について配慮を行った。
- 全てに多様性を認め、お互いの理解をするよう努めている。
- アンケート等で性別を確認する際に、未設定やそれ以外と2通り以外にしている。

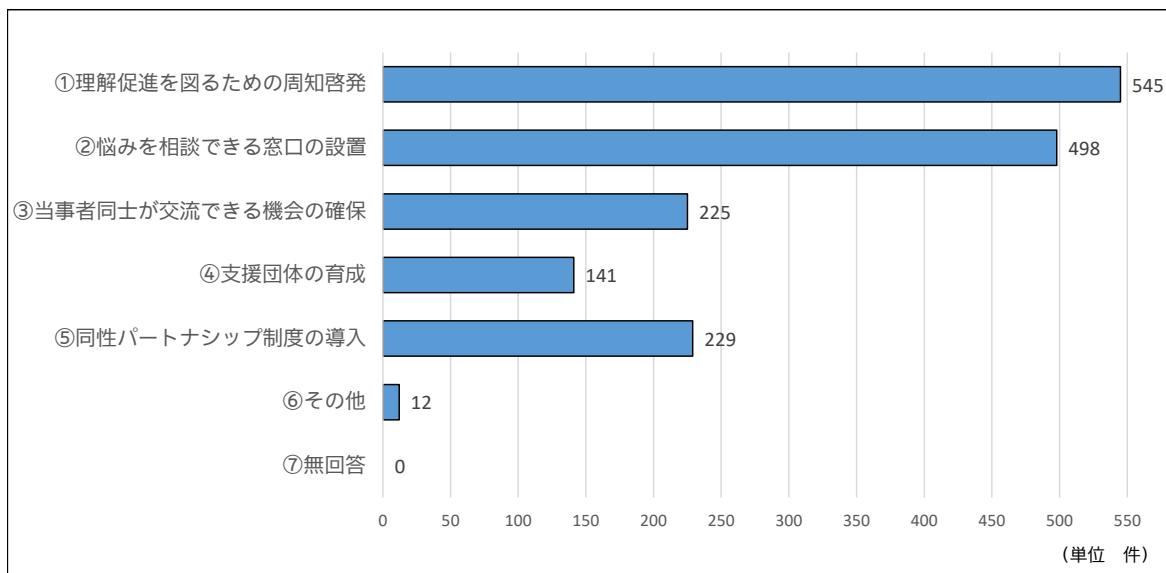
問.性的マイノリティーの来庁者に対して、業務上改善すべきだと思うことはありますか？（複数回答可）



⑫その他の内容

● 男子トイレについて、隣との仕切りがないことや、出入口の開閉時に廊下から中が見えること等、職員が使っていても違和感がある。

問「性的マイノリティ」が生きやすい社会の実現のために郡山市としてどのような取り組みが必要だと思いますか。（複数回答可）



⑥その他の主な内容

- 当事者同士の交流の機会等については、SNSなど民間主導で日進月歩のため、行政はマイノリティの声をアウトリーチで取得し、制度設計することに注力すべきと考える。
- 特別視せずに普通に対応することを徹底する。
- 若いうちから偏見を持たせないための教育が大切ではないか。

アンケート中その他意見の主な内容

●	性的マイノリティに対する配慮は必要と思うが、同時に、子育てしやすい環境整備や母親へのサポートも同時に進めていく必要があると思う。LGBTへの配慮を進めることで、ママを含めて多様性やマイノリティへの配慮が一体的に進むことを期待する。
●	多様な性について日常であまり意識することはありませんでした。自分の気づかないうちに差別的な対応をしていなかったかと振り返るきっかけとなった。
●	「人間の数だけ性別がある」と動画の中でお話があり、非常に簡単に理解できるキーワードだと思う。郡山市も地理的に様々な人が流入する場所だと思うので、人の数の多さや複雑さは県内では多いと思う。なので、日頃からこのキーワードを意識していく必要がある。

まとめ

・日頃の対応において、「性の在り方は多様である」ことを前提とし、固定観念や先入観にとらわれない対応をするよう心掛けている者が約8割を占めている。

・性的マイノリティ、または性的マイノリティと思われる住民等に対して配慮した経験がない、対応をしたかどうか分からないと回答した者が約9割以上を占めているが、対応をしたことがある者の中では、「全てに多様性を認め、お互いの理解をするよう努めている」と回答する者がいる。

・業務上改善すべきと思うことについて多い回答は、「外見で性別を決めつけないこと（501件）」、「プライバシーへの配慮（475件）」、「正しい知識の習得（444件）」とあり、今後も理解を深めるための啓発・周知活動を積極的に進めていく必要がある。